



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

## Toward Global Research for Logic & Sensibility

公開シンポジウム「論理と感性の新たな学際研究に向けて」(参加自由)

日時: 2015年2月1日(日)13:00~18:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス東館6F G-sec Lab (<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>)

(\* 日曜日のため東門は閉門している可能性があります, 東館の1F入口は開錠しておりますので入館可能です.)

13:00 開会の辞 岡田光弘 (論理と感性のグローバル研究センター長)

13:05 特別講演 渡辺茂 (慶應義塾大学名誉教授) 「視覚で媒介されたマウスの感性」

13:45 大森幹真 (国立精神・神経医療研究センター) 「発達障がい児に対する学習支援における論理と感性」

14:15 休憩

14:25 松尾加代 (先導研究センター) 「裁判員裁判における事実認定判断に影響を及ぼす要因の検討」

14:55 井出野尚 (思考と行動判断の研究拠点) 「眼球運動測定を用いた論理的推論プロセスに関する実験的検討」

15:25 矢田部清美 (論理と感性のグローバル研究センター) 「児童期から青年期にかけての前頭葉機能発達: 近赤外線分光法による研究」

15:55 休憩

16:05 長門裕介 (文学研究科) 「現代の「人生の意味」の議論における実存的感覚の位置づけ」

16:35 特別講演 宮坂敬造 (慶應義塾大学名誉教授) 「医療・科学・技術の人類学と、複合領域の対話 新たな<感性>研究の方向性」

17:15 星聖子 (論理と感性のグローバル研究センター) 「15, 16世紀における単一画面形式祭壇画の形式分析 - 「高い玉座」の導入とヴェネツィア式祭壇画の展開をめぐる - 」

17:45 ディスカッション / 閉会

\* なお, 閉会後に会場にて懇親会 (軽食) を予定しております。

\* 参加費無料・事前登録不要

主催: 慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター

後援: 慶應義塾大学 「思考と行動判断」の研究拠点

お問い合わせ先: e-mail: [think-judge@abelard.flet.keio.ac.jp](mailto:think-judge@abelard.flet.keio.ac.jp)

Global Research Centre for  
Logic and Sensibility